

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 佐藤 公俊	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>(1) 教育活動</p> <p>・2020年度は、3、4年生のゼミナール活動に関して、例年9月に行っている夏合宿、12月に行っている茨城大学、富山大学、新潟大学、中京大学等とのインカレ合宿を行うことができなかった。大変残念なことであったが、このことを契機として、今年度以降のゼミ運営を見直し、より教育効果の高いものとすることを目指したい。</p> <p>①3年生のゼミナール活動に関して、地域政策学部ゼミナール協議会主催の「三扇祭学内プレゼンテーション大会」(オンライン開催)に3チームが出場した。結果として、Kimi-Kid's「福祉避難所の円滑な受入に向けて」が第1位、環境に寄り添い隊「買い物袋の環境負荷分析」が第2位を獲得した。TBI「買い溜め行動の分析と抑止方法の提案」はアカデミックな視点からオリジナリティのある考察を行ったものであり、ゼミ担当教員として最も高い評価を与えた。</p> <p>②3年生のゼミナール活動に関して、オンラインで開催された「第60回日本学生経済ゼミナール関東部会(インナー大会)プレゼンテーション部門」に3チームが出場した。Kimi-Kid's「福祉避難所の円滑な受入に向けて」はブロック内第2位の成績を収めた。</p> <p>・今年度のゼミ活動を総括すると、コロナ禍であっても勉学においては例年と同等以上の教育研究ができたと考える。課外活動ができなかったことが残念であるが、これについては今年度以降フォローしたい。</p> <p>(2) 研究活動</p> <p>【学会活動等】</p> <p>①日本地域政策学会常任理事・広報委員長として運営に関った(2018年7月～現在)。</p> <p>②日本地域政策学会政治行政部会に参加した。</p> <p>③日本公共政策学会学術委員会総合政策査読小委員会委員として運営に関った(2018年度～現在)。</p> <p>【公表論文等】</p> <p>・佐藤公俊「満足化モデル」「インクリメンタリズム」「ゴミ缶モデル」「政策の窓モデル」「アリソンのモデル」「プリンシパル・エージェント理論」「政策責任と情報公開」「行政の能率性と有効性」堀江湛・桑原英明編著『現代行政学の基礎知識』一藝社、2021年3月。</p> <p>・東京都港区の正史である『港区史』第6章「港区の税財政」の分担執筆を行った(「予算と歳出」担当、2017年度より執筆を開始し2021年3月末日に入稿、2023年3月に刊行予定)。</p> <p>(3) 学内行政</p> <p>学生部長として、業務を遂行した。</p> <p>(4) 社会貢献</p> <p>①群馬県関係</p> <p>・群馬県立文書館運営協議会委員として活動した(2010年度より継続)。</p> <p>・県有施設のあり方検討委員会委員(委員長)をつとめた(2019～2020年度)。</p> <p>・群馬コンベンションセンター指定管理者評価委員会委員をつとめた(2020年度より)</p> <p>②安中市関係</p> <p>・安中市行政改革審議会委員として活動した。(2012年度より継続)。2018年度より行政改革審議会会長をつとめている。</p>	

<ul style="list-style-type: none">・公立碓氷病院あり方検討委員会委員（副委員長）として活動した（2015年度より継続）・安中市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議委員（会長）をつとめ、第2期総合戦略を策定した（2015年度の第1期より継続）。 <p>③川口市関係</p> <ul style="list-style-type: none">・行政評価外部評価委員会委員（副委員長・第二部会長）として委員会および部会の会議を主宰した。また、川口市企画財政部行政経営推進室の業務に対する助言等を行った（2010年度より継続）。
2 その他の事項
3 次年度以降の計画・抱負